

道徳の授業 2

金沢工業大学教授 白木みどり先生のお話を聞くことができた。

多くの方が、先生のお話を聞いていると思います。

ここでは、私の理解・メモにより、先生の「アクティブモラルラーニング」について整理する。

○アクティブモラルラーニング

考え議論する道徳…自分の考えを持ち、どんな人間関係の中でも自分の考えを持ち周りに語れる。

○モラルラーニングになる要件

- ①資料の**内容を理解**する → しっかり読む、先生も理解する
- ②道徳的価値を含む**思考課題**に取り組む → 資料のどこで何を考えさせたいか、ここを狙う
- ③道徳的価値についての自分の**考え方を持つ**
- ④道徳的価値についての自分の**考えを表現**する
- ⑤考えの多様性を、他者、グループ、学級で**共有**する
- ⑥新たに出会った道徳的価値により自己の既存の価値観を**再構築**する → 自分に返す
- ⑦道徳的価値についての考えを自分ごととしてとらえ、**発展**させる
- ⑧道徳的価値についての考えを**活用**する

○アクティブになる要件 → 先生がアクティブになる

中心発問について、多様な意見がでること

ア 話し合い、グループ

イ 明確な狙いに基づいて（生徒は）こっちを向く

ウ 導入、終末を工夫

エ T.T

オ G.T

カ 他の活動につなげる（他教科、特別活動、総合的な活動の時間）

キ 授業内容を発展させる（発信する）

○まとめ

（先生が道徳に対して）かちんかちんに考えない！

道徳ほど自然なものはない

多様な考えをいかに出させるか → そのための発問、DVD、資料、G.T などなど

シンプルな基本発問 ～はどう思う？

～はどうして？ （なぜ？）

どうすればいいの？

先生の腕の見せどころ

こんな対話は、休み時間等でも可能

こんな授業の積み重ねで、先生と生徒の信頼関係が築け、良好な学級経営につながる、と思う。